

地域共生社会づくりフォーラム

～2040年を見据えて～

全世代型社会保障や地方創生、地域共生社会や小規模多機能自治、重層的支援や孤独・孤立対策など、急激な人口減少と高齢者人口がピークを迎える2040年を見据えて、次々と打ち出されてきた政策……。一度「自治体行政の原点」に立ち返り、なぜその政策・制度が生まれてきたのか、どんな思いをもって創られてきたのか、そして、自治体行政に何が託され、2040年を見据えたプロセスをどう描けばよいのか。様々な政策や地域づくりに関わってきた登壇者とともにそのヒントを語り合うフォーラムを開催します。

日時

2023年10月23日（月）

13:30～16:30

場所

滋賀県庁東館7階大会議室

（滋賀県大津市京町4-1-1）

定員

定員200人
（先着順）

対象者

自治体職員
地域共生社会づくりに関心のある方



申込方法

右のQRコード、もしくは以下のサイトにアクセスいただき、お申込みください。
しがネット受付サービス

<https://ttzk.graffer.jp/pref-shiga/smart-apply/apply-procedure/6523346064891986409>

申込締切

2023年10月16日（月）17時

主催

滋賀地方自治研究センター

共催

滋賀県

講師

野崎 伸一 氏



アマタホールディングス株式会社 執行役員(兼)地域デザイングループグループマネージャー (厚生労働省より出向)

元厚生労働省生活困窮者自立支援室長(兼)地域共生社会推進室長。大臣官房政策企画官として2016年に「地域共生社会」の構想を立ち上げ、初代地域共生社会推進室長に就任。その後、広報室長、高齢者雇用対策課長を経て、「地域づくり」の実践を学ぶため自ら希望してアマタホールディングス株式会社(「ごみ出し」や資源循環という切り口から住民主体の持続可能なまちづくりに貢献する企業)に出向。民間の立場で、公民協働・領域横断による「エコシステム社会」の構築など、様々な地域づくりを全国の自治体等に提案・実践している。

犬丸 智則 氏



厚生労働省 社会・援護局地域福祉課 地域共生社会推進室 支援推進官 (滋賀県守山市より出向)

民間企業勤務を経て、2005年に滋賀県守山市役所入職。健康福祉分野を長く経験。職務を通じて様々な市民・団体に出会う中で、自分らしい生き方の実現を起点に、コミュニティの再生、地域の活性化が循環するまちづくりに取り組んできた。2020年には、空き店舗をリノベーションして、地産地消の「食」と「働き方」「福祉」をつなぐカフェ「Ink MORIYAMA」を開設。その中心的役割を担う。現在は、厚生労働省地域共生社会推進室で、主に自治体向け研修等の企画を担当。

中西 大輔 氏 滋賀地方自治研究センター理事

元滋賀県職員。在職中より「誰もが暮らしやすい地域づくり」を目指して様々な社会的活動に取り組む。現在、草津市役所に非常勤で勤務する傍ら、ワーカーズコープセンター事業団顧問、(社)協同総合研究所理事、滋賀地方自治研究センター理事、しが生活支援者ネット代表等を務める。



プログラム

1. 開会あいさつ	滋賀県 健康医療福祉部長 大岡 紳浩	13:30~ 13:35
2. 趣旨説明	滋賀地方自治研究センター 理事 中西 大輔	13:35~ 13:45
3. 基調講演 1	テーマ:「地域共生社会づくりに向けた政策の方向性」 講師:犬丸 智則 氏	13:45~ 14:30
4. 基調講演 2	テーマ:「改めて何をを目指すのか」 講師:野崎 伸一 氏	14:30~ 15:15
-休憩-		15:15~ 15:25
5. トークセッション	野崎 伸一 氏 × 犬丸 智則 氏 × 会場 (進行) 中西大輔	15:25~ 16:25
-閉会-		16:30

問い合わせ

滋賀県 健康医療福祉部 健康福祉政策課 (田中、矢向)

tel : 077-528-3512

fax : 077-528-4850

E-mail : ea0001@pref.shiga.lg.jp

